SUN METALON Inc.に対する支援決定(出資)について

2026 年 11 月 24 日
GX 推進機構

GX 推進機構は、SUN METALON Inc.に対する金融支援を行いました。同社は金属リサイクル装置の開発を手掛けており、金属スクラップの再利用・資源循環を通じた、鉄鋼を含む金属業界の脱炭素化及び産業競争力の強化への貢献が期待されます。

GX 推進機構(以下「機構」)は、SUN METALON Inc.(以下「Sun Metalon」)に対して、出資を行いました。本出資は、Sun Metalon による国内での金属リサイクル処理能力の拡大に向けた新たな処理拠点の立上げ等を支援するものです。

Sun Metalon は、低コスト、低 CO2 排出、省スペースを特徴とする独自の金属加熱技術を有しています。同社の技術は、従来は廃棄されるなど十分に活用されてこなかった低品位・低価値な金属スクラップから不純物を除去し、高付加価値の金属原料として再資源化するものであり、鉄鋼業の電炉化に伴う高品位スクラップの需要増といった課題への直接的なソリューションとして期待される他、鉄・非鉄含む金属業界の脱炭素化、産業競争力の強化に貢献することが見込まれます。

また、銅・アルミ等の金属資源・部素材等の国内循環を実現する有効なソリューションとして、国内での安定供給にも寄与するものと考えています。

1. 事業者の概要
   - ① 名　　称:　SUN METALON Inc.
   - ② 本社所在地:　米国　シカゴ
     ※装置の開発・製造は日本法人(SUN METALON Japan)で実施
   - ③ 代　表　者:　西岡　和彦
   - ④ 設　立　年:　2021 年
   - ⑤ 主な事業内容:　金属リサイクル関連事業

2. 本支援の政策的意義

① CO2 排出削減の観点

- Sun Metalon の金属リサイクル装置を利用することにより、従来は廃棄されるなど十分に利用されてこなかった金属スクラップの再資源化が可能となります。従来廃棄等されていたスクラップが再利用され、高 CO2 排出を伴う高炉法を用いた新規の金属製造削減が可能となることから、CO2 排出削減に寄与すると評価できます。
- また、Sun Metalon の金属リサイクル装置は電力で稼働するため、投入する電力の脱炭素化と組み合わせることにより、化石燃料の利用を前提とする従来型の金属リサイクル設備と比較して、CO2 の削減効果が期待されます。

② 産業競争力強化・経済成長の観点

- 政府は、日本成長戦略（2026 年 7 月閣議決定）において、国際競争力のあるグリーン鉄や低炭素金属部素材の国内での生産・技術基盤の構築を GX に関する重要な取組に位置付けています。その具体目標として、2030 年時点で、鉄スクラップを高品位化する処理能力について、年間約 200 万トンを目安として追加的に国内で確保することを目指しています。
- 特に高品位スクラップの増産は、大型革新電炉による高品質鋼材の製造および鉄鋼業の脱炭素化を進める上で重要であり、本件支援を通じて、その原料となる高品位スクラップの供給力強化に寄与し、日本の金属業界における産業競争力強化に貢献することを期待しています。

機構は、引き続き、官民協調での 150 兆円超の GX 投資を実現するべく、GX に資する事業の推進に挑戦する企業に対して、積極的に支援してまいります。

（本発表資料のお問合せ先）
GX 推進機構　金融推進部
メール：gx_acceleration_agency★gxa.go.jp
※[★]を[@]に置き換えてください。